

研究機関名：旭川医科大学

作成年月日：2025 年 11 月 21 日（第 1.0 版）

承認番号	25131
課題名	旭川医科大学皮膚科アトピー性皮膚炎（AD）外来における小児例の近年の治療傾向のまとめ
研究期間	西暦 2025 年 12 月 4 日（実施許可日） ～ 2026 年 12 月 31 日
研究の対象	1）2023 年 10 月～2025 年 6 月末までの間に 15 歳未満で当院皮膚科外来に通院歴があり、アトピー性皮膚炎の治療を受けられた方
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報（詳細：病歴、年齢、性別、生年月日、家族歴、既往歴、罹病期間、当科通院開始までの罹病期間や通院開始年齢、EASI（eczema area and severity index）による臨床症状の評価、治療歴、そう痒 NRS（Numerical Rating Scale: 数値的評価スケール）、採血データ等） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（ ）
利用予定日	開始日：実施許可日から 1 ヶ月後
試料・情報の管理について責任を有する者	旭川医科大学 学長 西川 祐司
研究の意義、目的	小児アトピー性皮膚炎の治療は近年大きな変化をとげています。2023 年 9 月末にデュピクセントの適応が生後 6 か月以上に拡大されてからそれまで 12 歳以上に限定されていた全身治療の選択肢が増え続けています。当院皮膚科外来では、成人、小児を問わずアトピー性皮膚炎の診療を行っていますが、2024 年以降は小児の紹介が増えており、それに伴って全身治療を受ける方も増えつつあります。最近の治療動向とその有効性、さらに小児アトピー性皮膚炎診療における課題を明らかにすることを目的として、2023 年 9 月末を境に当科への紹介傾向や治療選択に違いがあるかを比較し後方視的解析を行う。
研究の方法	電子カルテ端末から対象となる患者さんの診療で得られた上記の情報を収集し、データの集計と統計学的な解析を行います。
その他	
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

	<p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>所在地：北海道旭川市緑が丘東 2 条 1 丁目 1-1</p> <p>旭川医科大学 皮膚科学講座</p> <p>担当者の所属・氏名：皮膚科学講座・井川 哲子</p> <p>連絡先：0166-68-2523</p> <p>研究責任者：</p> <p>旭川医科大学 皮膚科学講座 井川 哲子</p>
--	---